

- 26) 西田道弘、岡本幹三、濱島ちさと、尾崎米厚、岸本拓治. 胃内視鏡検診の生存率による有効性評価. 米子医学雑誌 2009; 60(5): 184-191.
- 27) 井上和興、大倉毅、松澤和彦、木下博司、馬場裕生、谷口晋一、武地幹夫、尾崎米厚、岸本拓治. 日本人の地域住民における耐糖能障害のスクリーニングのための適切な抽出指標の検討. 米子医学雑誌 2009; 60(1): 10-18.
- 29) Ohtsu T, Kokaze A, Osaki Y, Kaneita Y, Shirasawa T, Ito T, Sekii H, Kawamoto T, Hashimoto M, Ohida T. Blue Monday phenomenon among men: suicide deaths in Japan. *Acta Med Okayama* 2009;p 63(5): 231-236.
- 30) Takahashi I, Osaki Y, Okamoto M, Tahara A, Kishimoto T. The current status of hand washing and glove use among care staff in Japan: its association with the education, knowledge, and attitudes of staff, and infection control by facilities. *Environ Health Prev Med* 2009; 14(6): 336-344.
- 31) Ohkura T, Taniguchi S, Inoue K, Yamamoto N, Matsuzawa K, Fujioka Y, Sumi K, Izawa S, Takechi M, Osaki Y, Shigemasa C. Screening criteria of diabetes mellitus and impaired glucose tolerance of the Japanese population in a rural area of Japan: The Tottori-Kofu study. *Yonago Acta Medica* 2009; 52(3): 105-114.
- 32) 岡本幹三、鈴木康江、西田道弘、尾崎米厚、岸本拓治. 鳥取県における多重がんの発生要因に関する研究. 米子医学雑誌 2008;59(3):73-80.
- 33) 田原文、岸本拓治、永井マリヤ、芦村寿生、尾崎米厚、岡本幹三. 職域における血管内皮細胞由来一酸化窒素合成酵素 T-786C 遺伝子多型を考慮した動脈硬化予防プログラムに関する研究. 米子医学雑誌 2008;59(3):81-89.
- 34) Kotani K, Sakane N, Kurozawa Y, Kaetsu A, Okamoto M, Osaki Y, Kishimoto T. Polymorphism of Trp64Arg in beta3-adrenergic receptor gene and serum LDL-cholesterol concentrations in healthy Japanese. *Ann Clin Biochem.* 2008;45(Pt 3):313-5.
- 35) Osaki Y, Tanihata T, Ohida T, Kanda H, Kaneita Y, Minowa M, Suzuki K, Wada K, Hayashi K. Decrease in the prevalence of smoking among Japanese adolescents and its possible causes; Periodic nationwide cross-sectional surveys. *Environ Health Prev Med* 2008;13:219-226.
- 36) Sawada T, Kishimoto T, Osaki Y, Okamoto M, Tahara A, Kaetu A, Kurosawa Y, Kotani K. Relation of the Glu298Asp polymorphism of the nitric oxide synthase gene to hypertension and serum cholesterol in Japanese workers. *Prev Med.* 2008;47(2):167-71.
- 37) 堀井芽衣、岸本拓治、尾崎米厚、岡本幹三. 職域集団におけるメタボリックシンドロームと動脈硬化関連遺伝子多型の関連性に関する横断研究. 米子医学雑誌 2008;59(5):148-155.
- 38) 尾崎米厚、簗輪真澄、大井田隆、鈴木健二、谷畑健生、神田秀幸、兼板佳孝、林謙治. わが国の成人の分煙に関する知識、受動喫煙曝露の実態に関する全国調査. *日本禁煙医師連盟通信* 2008;17(1):7-8
- 39) 松下幸生、尾崎米厚、樋口進. アルコール依存. *こころの科学* 2008; 139: 89-95.
- 40) 尾崎米厚. たばこ対策研究の現状と今後の研究課題. *公衆衛生* 2008; 72(7):522-526.

2. 学会発表

- 1) 岸本拓治, 尾崎米厚, 岡本幹三, 濱島ちさと. 地域がん登録データによる胃内視鏡検診と胃 X 線検診の生存率比較. *日本衛生学雑誌* 66(2);485:2011
- 2) 大津忠弘, 兼板佳孝, 大井田隆, 尾崎米厚, 神田秀幸, 玉城哲雄, 白澤貴子, 落合裕隆, 小風暁, 林謙治. 医学部学生のメンタルヘルスと睡眠との関連について. *日本衛生学雑誌* 66(2);497:2011
- 3) 尾崎米厚, 神田秀幸, 福島哲仁, 谷畑健生, 兼板佳孝, 大井田隆. たばこ規制の現状と今後の課題 FCTC の批准国として実効性のある規制・対策をどう進めるか? モニタリング調査からみた喫煙行動、受動喫煙曝露の実態と今後の課題. *日本公衆衛生雑誌* 57(10);78:2010
- 4) 宗澤岳史, 兼板佳孝, 尾崎米厚, 神田秀幸, 簗輪真澄, 大井田隆. 中学生・高校生の衝動性と怒りに関する全国調査. *日本公衆衛生雑誌* 57(10);191:2010
- 5) 田原文、尾崎米厚、岸本拓治. 健康診査受診頻度と 5-7 年後医療費の関連についての研究. *日本公衆衛生雑誌* 57(10);191:2010
- 6) 神田秀幸, 尾崎米厚, 大井田隆, 兼板佳孝, 宗澤岳史, 谷畑健生, 簗輪真澄, 鈴木健二. Taspo は中高校生の自動販売機によるタバコ購入を完全に防止していない. *日本公衆衛生雑誌* 57(10);273:2010
- 7) 谷畑健生, 尾崎米厚, 神田秀幸, 兼板佳孝, 大井田隆, 簗輪真澄, 和田清, 鈴木健二, 林謙治. 青少年の喫煙、睡眠障害と精神的健康度 2004 年度、全国規模調査の断面調査結果. *日本公衆衛生雑誌* 57(10);274:2010

- 8) 森弥生, 神田秀幸, 尾崎米厚, 福島哲仁. HPLC/UV 分析法による、毛髪中ニコチンおよびコチニンの微量分析の開発. 日本公衆衛生雑誌 57(10);283:2010
- 9) 高橋郁子, 尾崎米厚, 金田由紀子, 鈴木康江, 田原文, 岡本幹三, 岸本拓治. 高齢者施設で働く介護職員の感染症に対する認識. 日本公衆衛生雑誌 57(10);442:2010
- 10) 尾崎米厚, 樋口進, 松下幸生, 田原文, 澤滋, 岸本拓治. 多様な嗜好行動を物質依存の立場から考える 問題飲酒、ニコチン依存、インターネット依存、ギャンブル依存の相互関係. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 45(4);61:2010
- 11) 岸本拓治, 尾崎米厚, 田原文. 職域におけるメタボリックシンドロームと $\beta 2$ アドレナリン受容体遺伝子多型の関連性. 日本衛生学雑誌 65(2);380:2010
- 12) 大倉毅, 谷口晋一, 山本直哉, 井上和興, 角啓佑, 塩地英希, 伊澤正一郎, 藤岡洋平, 松澤和彦, 木下博司, 大倉裕子, 武地幹夫, 尾崎米厚, 岸本拓治, 重政千秋. 鳥取-江府 study(第8報) 行政・医療・大学の3者連携による耐糖能異常者の早期発見と生活習慣介入. 糖尿病 53(Suppl.1);S-282:2010
- 13) 尾崎米厚, 神田秀幸, 福島哲仁, 大井田隆, 谷畑健生, 岸本拓治. わが国の成人の喫煙行動及び受動喫煙曝露の実態に関する調査の企画 予備調査結果より. 日本公衆衛生雑誌 2009; 56(10):191.
- 14) 尾崎米厚, 田原文, 岸本拓治. 脳卒中の日別発症数と気象条件、曜日との関係. 日衛誌 2009; 64(2): 568
- 15) 福永一郎, 中瀬克己, 尾崎米厚, 糸数公, 星川洋一, 尾島俊之. 健康危機管理における地域組織・ボランティアの果たすべき役割. 日衛誌 2009; 64(2): 531
- 16) 田原文, 岸本拓治, 尾崎米厚, 岡本幹三. 職域における $\beta 3$ アドレナリン受容体 Trp64Arg 遺伝子多型を考慮した保健指導効果に関する介入研究. 日衛誌 2009; 64(2):489
- 17) 尾崎米厚, 樋口進, 松下幸生, 田原文, 岸本拓治. わが国の成人における問題飲酒、ニコチン依存、インターネット依存、ギャンブル依存の頻度と相互関係. 日本アルコール・薬物依存学会誌 2009; 44(4):380-381
- 18) 樋口進, 尾崎米厚, 松下幸生. 社会における飲酒渦の予防のために わが国の一般成人における飲酒運転の実態. 日本アルコール・薬物依存学会誌 2009; 44(4):236-237
- 19) 大津忠弘, 小風暁, 尾崎米厚, 兼板佳孝, 白澤貴子, 樋口進, 土居弘幸, 大井田隆. 自殺死亡の週内変動について. 産業衛生学雑誌 2009;51(臨増):605
- 20) 西田道弘, 濱島ちさと, 岡本幹三, 尾崎米厚, 岸本拓治. 鳥取県における内視鏡検診評価一生存率による評価一. 日本公衆衛生雑誌 2009; 56(10):178.
- 21) 原口由紀子, 尾崎米厚, 田原文, 高橋郁子, 岡本幹三, 矢倉紀子, 岸本拓治. 地域高齢者を対象とした小地域型介護予防事業の参加者の特徴. 日本公衆衛生雑誌 2009; 56(10):220.
- 22) 谷畑健生, 村田陽平, 邱冬梅, 神田秀幸, 吉見逸郎, 尾崎米厚. 公的抑圧と喫煙行動. 日本公衆衛生雑誌 2009; 56(10):408.
- 23) 城戸尚治, 大井田隆, 兼板佳孝, 玉城哲雄, 尾崎米厚, 神田秀幸, 谷畑健生. 青少年における喫煙と睡眠障害の量反応関係について. 日大医学雑誌 2009; 68(1): 83.
- 24) 田原文, 岡本幹三, 尾崎米厚, 岸本拓治. 小学6年生におけるテレビ視聴時間と生活習慣および自覚症状との関連. 学校保健研究 2009;51:292. 松下幸生, 尾崎米厚, 館内由枝, 藤田さかえ, 樋口進. 社会復帰施設を必要とするアルコール依存症者数の推計. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2008;43(4):344-5.
- 25) 真栄里仁, 尾崎米厚, 館内由江, 藤田さかえ, 松下幸生, 樋口進. 社会復帰施設を必要とするアルコール依存症者のスクリーニング基準. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2008;43(4):342-3.
- 26) 岸本拓治, 尾崎米厚, 田原文. アドレナリン受容体 Arg16Gly 遺伝子多型を考慮した動脈硬化症予防プログラムに関する無作為比較試験. 産業衛生学雑誌 2008;50(supple):1031.
- 27) 岡本幹三, 鈴木康江, 西田道弘, 田原文, 高橋郁子, 尾崎米厚, 岸本拓治. 生存分析からみた多重がん患者と単発がん患者の生命予後の比較研究. 日本衛生学雑誌 2008;63(2) 560.
- 28) 岸本拓治, 堀井芽衣, 尾崎米厚, 岡本幹三, 田原文, 永井マリヤ, 高橋郁子, 鈴木康江, 西田道弘. 日本人職域における動脈硬化症関連遺伝子多型を考慮したメタボリックシンドロームに関する横断研究. 日本衛生学雑誌 2008;63(2) 510.
- 29) 田原文, 岸本拓治, 永井マリヤ, 芦村寿生, 尾崎米厚, 岡本幹三, 高橋郁子, 鈴木康江. 職域における血管内皮細胞由来一酸化窒素合成酵素

(eNOS)T-786C 遺伝子多型を考慮した、動脈硬化症予防プログラムに関する研究 . 日本衛生学雑誌 2008;63(2) 430.

30) 玉城哲雄、大井田隆、兼板佳孝、横山英世、神田秀幸、尾崎米厚、武村真治、林謙治. わが国の医学部学生の喫煙および関連要因に関する調査研究. 第 67 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 日本公衆衛生雑誌 2008;55(10 suppl):252.

31) 神田秀幸、早川岳人、坪井聡、尾崎米厚、福島哲仁. Cochrane Database of Systematic Reviews における未成年者喫煙対策の動向. 第 67 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 日本公衆衛生雑誌 2008;55(10 suppl):255.

32) 尾崎米厚、神田秀幸、大井田隆、兼板佳孝、簗輪眞澄. わが国の中高生の喫煙防止のためには、タバコ価格はいくらがいいのか？第 67 回日本公衆衛

生学会総会抄録集. 日本公衆衛生雑誌 2008;55(10 suppl):297.

33) 岡本幹三、高橋郁子、鈴木康江、田原文、尾崎米厚、岸本拓治. 島根県H町における小学6年生及び中学2年生の排便リズムと生活習慣連鎖に関する研究. 第 67 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 日本公衆衛生雑誌 2008;55(10 suppl):470.

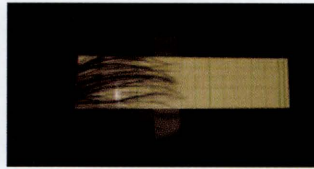
34) 高橋郁子、尾崎米厚、原口由紀子、鈴木康江、田原文、岡本幹三、岸本拓治. 高齢者施設で働く介護職員の感染症の知識に関する一考察. 第 67 回日本公衆衛生学会総会抄録集. 日本公衆衛生雑誌 2008;55(10 suppl):585.

H. 知的財産権の出願、登録状況
特記事項なし

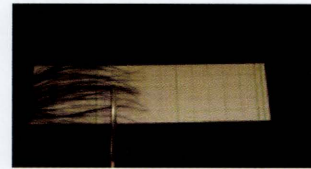
図1. 採取した毛髪 of 切断方法



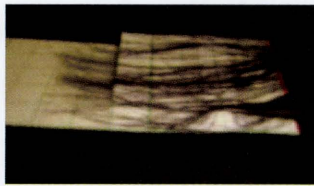
毛髪が付着したキットを-80℃の冷凍庫から取り出す



毛髪をまっすぐに整え、赤線から5cmの目盛りにあわせてテープを張る



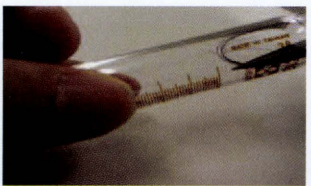
赤線から5cmの目盛りにあわせてキットとともに毛髪を切断する



キットに張られた2本の両面テープの間の毛髪をピンセットでつかみ上げる



約5cmに切断された毛髪の中央をピンセットで持つ



あらかじめ定量しておいた洗浄用の共栓管に切断した毛髪の中央から入れる

図2. 毛髪 of ニコチン・コチニンの測定方法 HPLC/UV



1. 検体の保存(-80℃)



3. HPLC/UV法による測定
(日本分光LC-2000 plus)



2. 抽出作業(クロロホルムによる液液抽出)



4. 測定結果(クロマトグラム)

図 3. 毛髪中のニコチン・コチニン濃度測定法
毛髪の前処理フローチャート

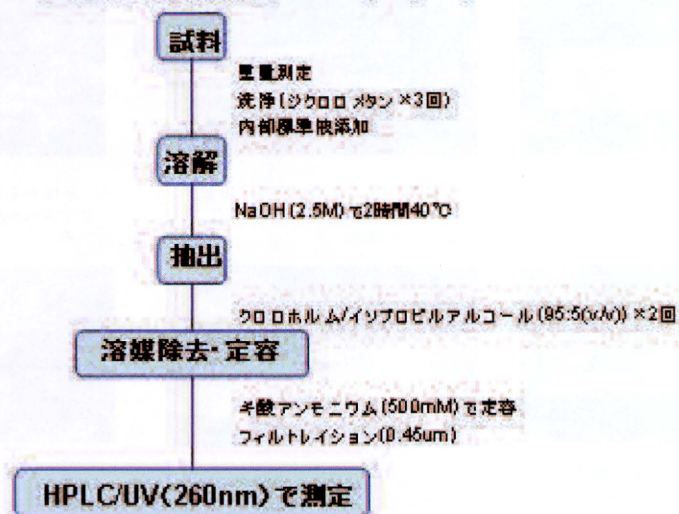
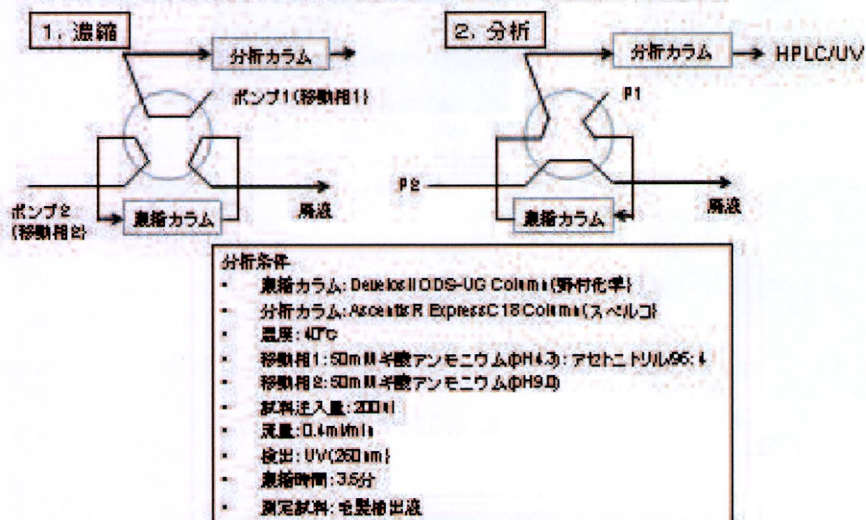


図 4. 毛髪中のニコチン・コチニン濃度測定法
カラムスイッチング法(自動プレカラム濃縮)

毛髪中に含まれる微量成分を精度よく分析するため、試料の大量注入、および成分濃縮を行う必要があり、カラムスイッチング法(自動プレカラム濃縮)を利用した。



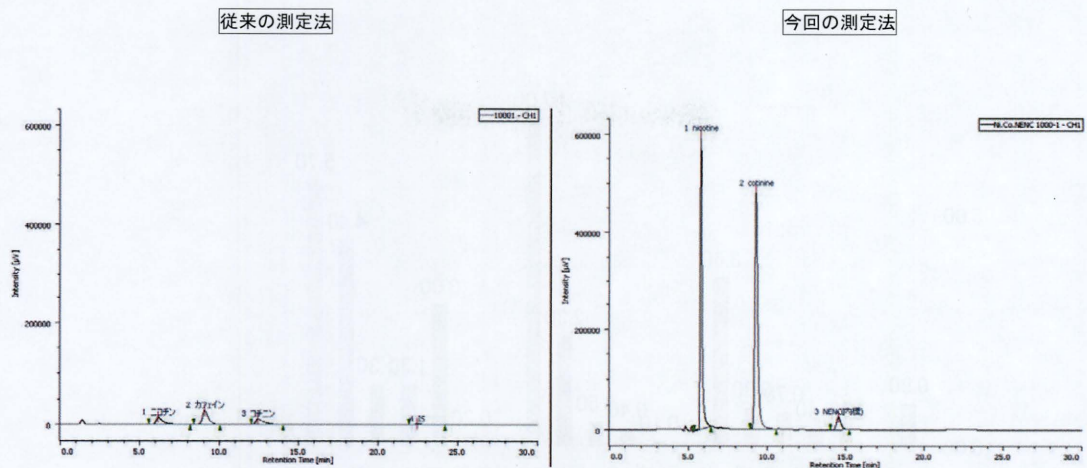


図 5. 同じニコチン・コチニン含有標準液を測定した場合の従来方法と今回の方法の比較

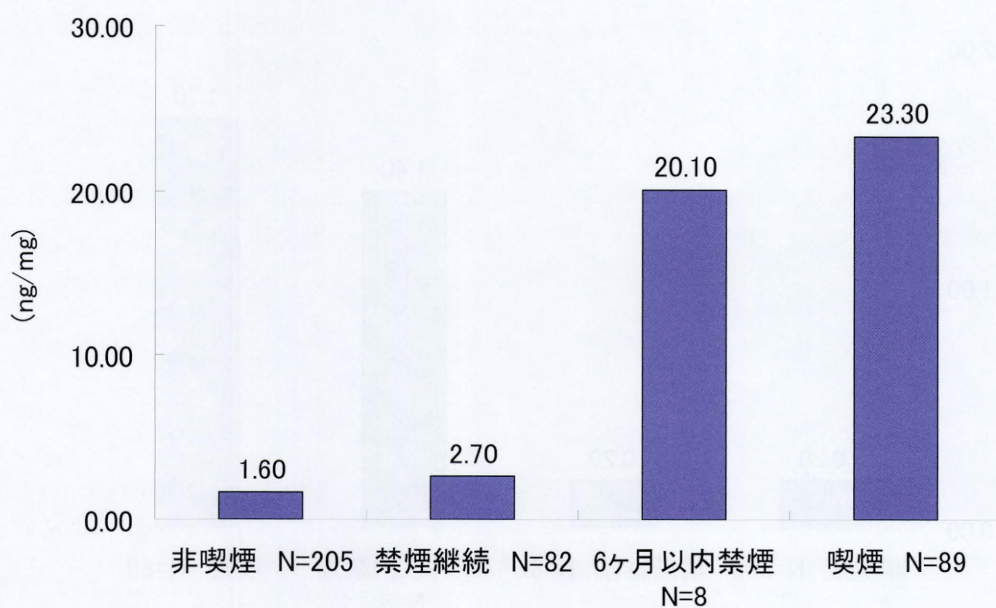


図 6. 喫煙区分毎の毛髪中含有ニコチン平均量

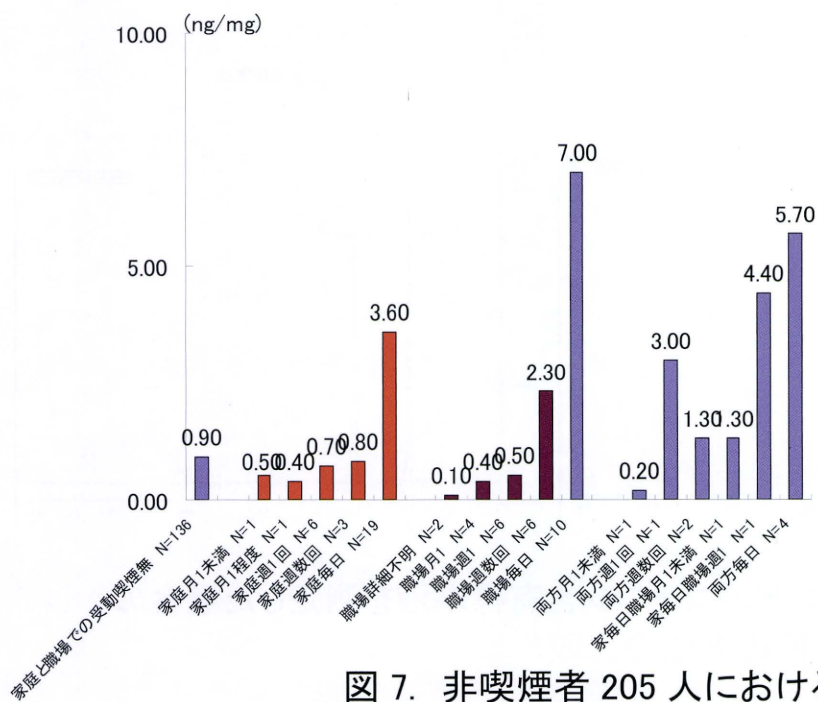


図 7. 非喫煙者 205 人における受動喫煙区分毎の毛髪中含有ニコチン平均量

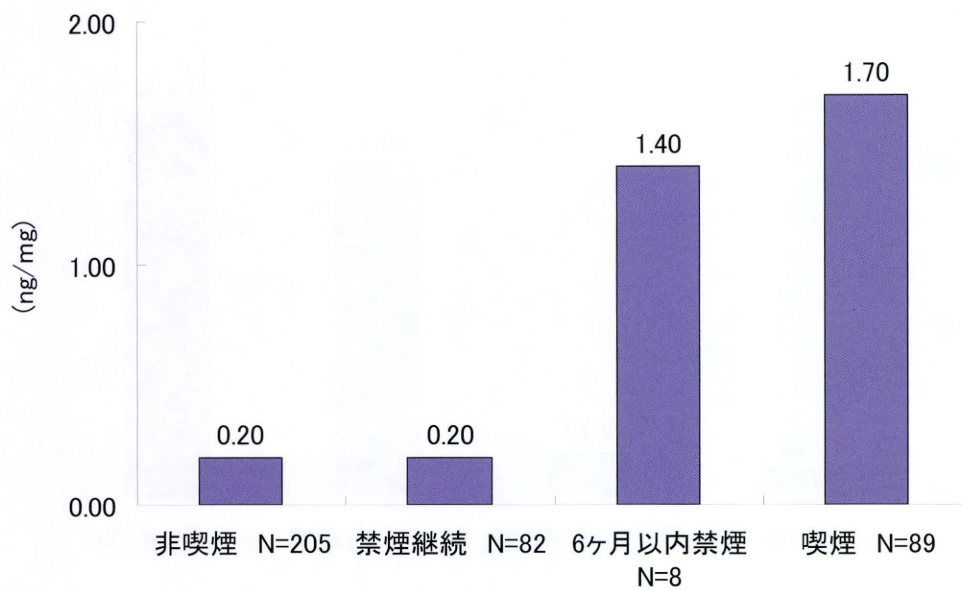


図 8. 喫煙区分毎の毛髪中含有コチニン平均量

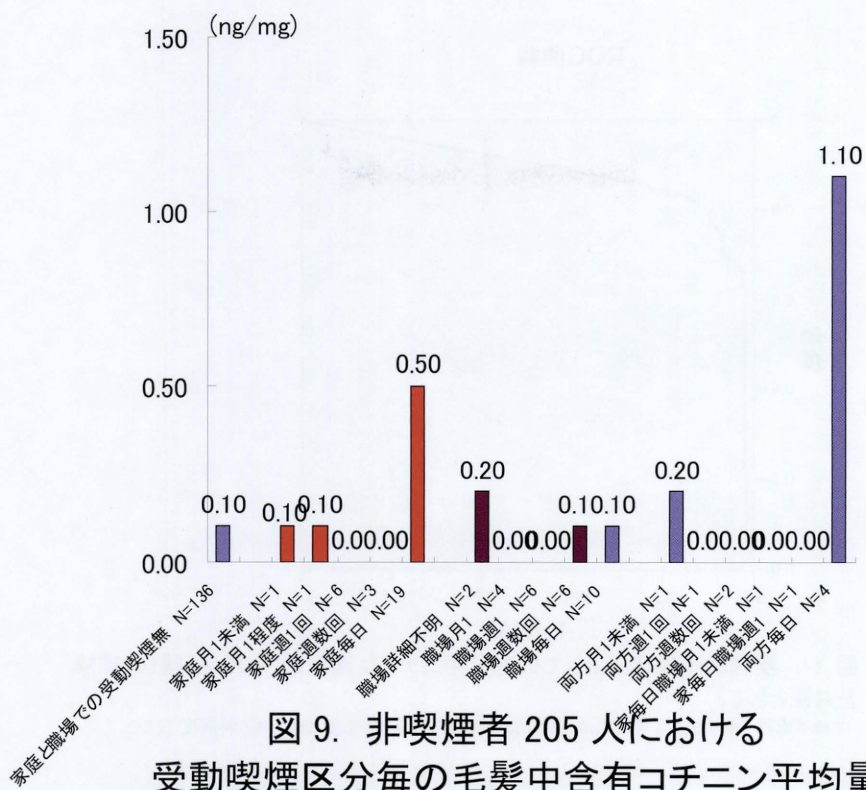


図 9. 非喫煙者 205 人における受動喫煙区分毎の毛髪中含有コチニン平均量

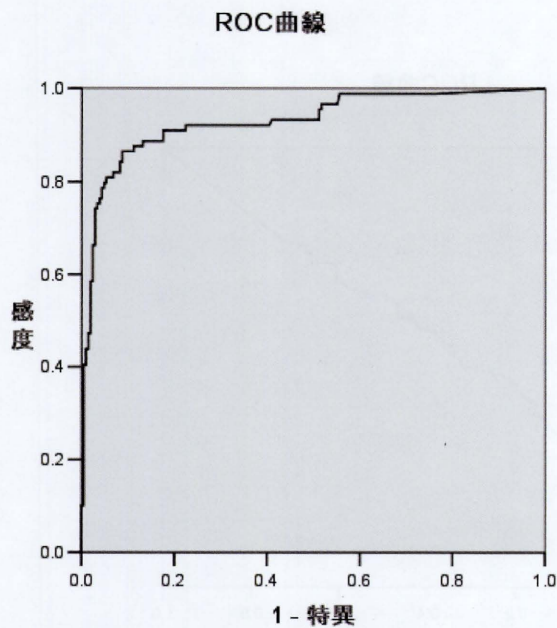


図 10. 喫煙の予測因子としての毛髪中ニコチン濃度の ROC 曲線 (非喫煙を対照として)
 曲線下面積 0.93 (95%信頼区間: 0.895-0.965) cut off 値 4.17 感度 86.5%、1-特異度 8.8%

ROC曲線

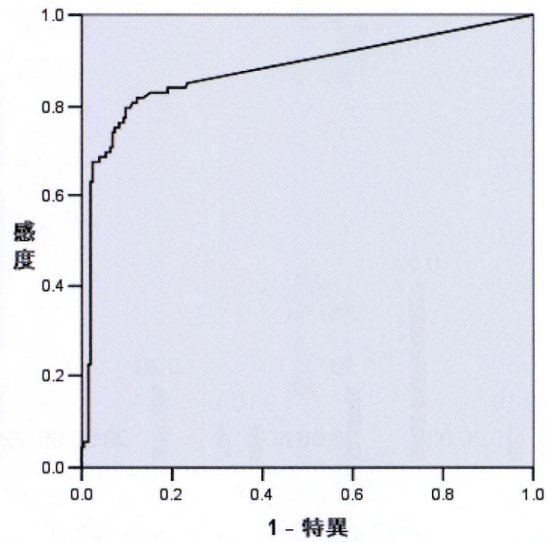


図 11. 喫煙の予測因子としての毛髪中コチニン濃度の ROC 曲線(非喫煙を対照として)

:曲線下面積 0.880(95%信頼区間: 0.829-0.931) cut off 値 0.93 感度 82.0%、1-特異度 12.2%

ROC曲線

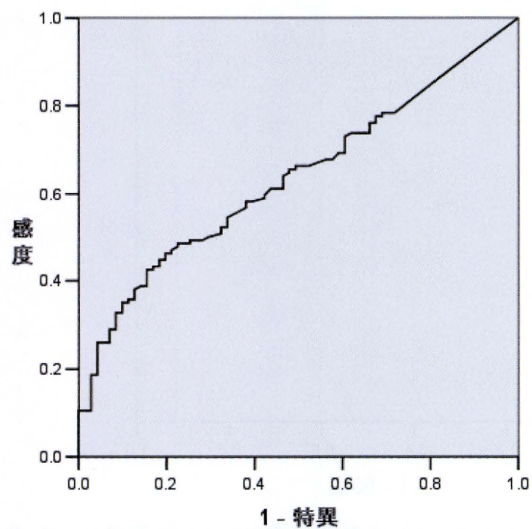


図 12.非喫煙者における受動喫煙有の予測因子としての毛髪中ニコチン濃度の ROC 曲線(非喫煙受動喫煙無を対照として):曲線下面積 0.635(95%信頼区間:0.560-0.711)

ROC曲線

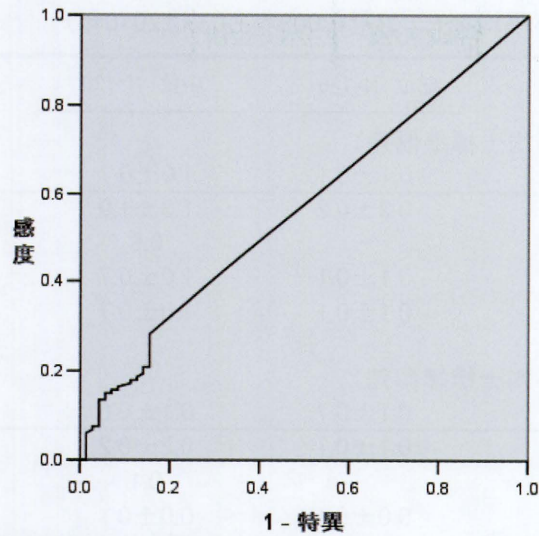


図 13.非喫煙者における受動喫煙有の予測因子としての毛髪中コチニン濃度の ROC 曲線
(非喫煙受動喫煙無を対照として) ; 曲線下面積 0.563 (95%信頼区間: 0.483-0.644)

表1. 初回毛髪提供者384人における毛髪中ニコチン濃度別 基本属性(2009年もしくは2010年)

毛髪中ニコチン濃度3分位	低位 N=126	中位 N=130	高位 N=128
年齢(才, 平均±標準偏差)	54.9±16.9	56.0±16.8	52.7±15.2
性別(女性割合)(人数(%))	89 (70.6%)	69 (53.1%)	6 (25.0%)
喫煙区分(人数(%))			
喫煙	3 (2.4%)	8 (6.2%)	78 (60.9%)
6ヶ月以内禁煙	0 (0.0%)	1 (0.8%)	7 (5.5%)
禁煙継続	27 (21.4%)	38 (29.2%)	17 (13.3%)
非喫煙	96 (76.2%)	83 (63.8%)	26 (20.3%)
自覚的受動喫煙場所(人数(%), 複数回答)			
家庭	17 (13.5%)	29 (22.3%)	38 (29.7%)
職場	20 (15.9%)	25 (19.2%)	61 (47.7%)
飲食店	52 (41.3%)	53 (40.8%)	62 (48.4%)
遊技場	9 (7.1%)	8 (6.2%)	36 (28.1%)

実数: 人数、表中に示した%: 各列の提供者数Nを分母とした割合

表2. 初回毛髪提供者384人における毛髪中ニコチン濃度別 喫煙状況と毛髪中平均ニコチン量および平均コチニン量(2009年もしくは2010年)

毛髪中ニコチン濃度3分位	低位 N=126	中位 N=130	高位 N=128
毛髪中ニコチン量 (ng/mg, 平均±標準偏差)			
計	0.1±0.1	1.0±0.7	20.5±21.8
喫煙	0.2±0.2	1.3±1.0	26.4±24.5
6ヶ月以内禁煙	-	0.6	22.8±14.9
禁煙継続	0.1±0.1	1.0±0.7	10.4±10.0
非喫煙	0.1±0.1	1.0±0.7	8.5±10.5
毛髪中コチニン量 (ng/mg, 平均±標準偏差)			
計	0.1±0.7	0.1±0.6	1.4±1.9
喫煙	0.1±0.1	0.2±0.2	1.9±2.2
6ヶ月以内禁煙	-	0.1	1.6±1.2
禁煙継続	0.0±0.1	0.0±0.1	0.7±1.1
非喫煙	0.1±0.8	0.2±0.8	0.3±0.8

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
尾崎米厚	集団の健康状態の把握、疾病の予防とスクリーニング、おもな疾患の疫学、保健統計学、人口統計の基礎、疫学演習問題、国家試験勉強の手引	牧本清子	疫学・保健統計学	医学書院	東京	2011	7-19、52-57、85-122、123-157、159-170、187-213
尾崎米厚	日本の公衆衛生システムの特徴	平野かよ子、他	健康支援と社会保障公衆衛生	メディカ出版	吹田市	2011	14-17
尾崎米厚	疫学・保健統計	標準保健師講座編集室	2012年版保健師国家試験問題	医学書院	東京	2011	362-388
尾崎米厚	今を読み解く、公衆衛生のキーワード	これからの地域保健を担う人たちに編集委員会	これからの地域保健を担う人たちに	今井書店	松江市	2010	8-12
尾崎米厚、神田秀幸	未成年者の喫煙	林謙治	青少年の健康リスク	自由企画	東京	2008	45-57

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Osaki Y, et al.	Association of parental factors with student smoking and alcohol use in Japan	Jpn J Alcohol & Drug Dependence	46(2)	270-278	2011
尾崎米厚	わが国の飲酒運転の現状	日本アルコール薬物医学会雑誌	46(1)	23-28	2011
尾崎米厚	アルコールによる疾病負荷量	日本アルコール関連問題学会雑誌	特別号	S5	2011
尾崎米厚、他	わが国の成人における問題飲酒、ニコチン依存、インターネット依存、ギャンブル依存の頻度と相互関係	外来精神医療	11(1)	30-31	2011
Connolly GN, Behm I, Osaki Y, Wayne GF	The impact of menthol cigarettes on smoking initiation among non-smoking young females in Japan	Int J Environ Res Public Health	8(1)	1-14	2011
Kanda H, Wang P, Okamura T, Wuyun G, Wu H, Su X, Hayakawa T, Amamoto K, Ueshima H	Fasting Plasma Insulin is Associated with Metabolic Syndrome in Farmers but not in Nomads among the Mongolian Population, China	J Atheroscler Thromb	18(4)	291-297	2011
Kanda H, Osaki Y, Ohida T, Kaneita Y, Munezawa T	Age verification cards fail to fully prevent minors from accessing tobacco products	Tob Control.	20(2)	163-165	2011

Munezawa T, Kaneita Y, Osaki Y, Kanda H, et al.	Nightmare and sleep paralysis among Japanese adolescents: a nationwide representative survey	Sleep Med.	12(1)	56-64	2011
岸本拓治, 尾崎米厚, 岡本幹三, 濱島ちさと	地域がん登録データによる胃内視鏡検診と胃X線検診の生存率比較	日本衛生学雑誌	66(2)	485	2011
大津忠弘, 兼板佳孝, 大井田隆, 尾崎米厚, 神田秀幸, 玉城哲雄, 白澤貴子, 落合裕隆, 小風暁, 林謙治	医学部学生のメンタルヘルスと睡眠との関連について	日本衛生学雑誌	66(2)	497	2011
Tahara A, Osaki Y, Kishimoto T.	Effect of the β 3-adrenergic receptor gene polymorphism Trp64Arg on BMI reduction associated with an exercise-based intervention program in Japanese	Environ Health Prev Med.	15(6)	392-397	2010
Tamaki T, Kaneita Y, Ohida T, Yokoyama E, Osaki Y, Kanda H, et al	Prevalence of and factors associated with smoking among Japanese medical students	J Epidemiol.	20(4)	339-345	2010
Fukushima T, Tan X, Luo Y, Kanda H	Relationship between blood levels of heavy metals and Parkinson's disease in China	Neuroepidemiology	34(1)	18-24	2010
Nakamura K, Okamura T, Hayakawa T, Kanda H, et al.	Medical expenditures of men with hypertension and/or a smoking habit: a 10-year follow-up study of National Health Insurance in Shiga, Japan	Hypertens Res.	33(8)	802-807	2010
Suzuki H, Kaneita Y, Osaki Y, Minowa M, Kanda H, Suzuki K, Wada K, Hayashi K, Tanihata T, Ohida T	Clarification of the factor structure of the 12-item General Health Questionnaire among Japanese adolescents and associated sleep status	Psychiatry Res		In print	2010
Hayakawa T, Okamura T, Okayama A, Kanda H, Watanabe M, Kita Y, Miura K, Ueshima H	Relationship between 5-year decline in instrumental activity of daily living and accumulation of cardiovascular risk factors: NIPPON DATA90	J Atheroscler Thromb	17(1)	64-72	2010
尾崎米厚, 神田秀幸, 福島哲仁, 谷畑健生, 兼板佳孝, 大井田隆	たばこ規制の現状と今後の課題 FCTCの批准国として実効性のある規制・対策をどう進めるか? モニタリング調査からみた喫煙行動、受動喫煙曝露の実態と今後の課題	日本公衆衛生雑誌	57(10)	78	2010
宗澤岳史, 兼板佳孝, 尾崎米厚, 神田秀幸, 蓑輪真澄, 大井田隆	中学生・高校生の衝動性と怒りに関する全国調査	日本公衆衛生雑誌	57(10)	191	2010
田原文, 尾崎米厚, 岸本拓治	健康診査受診頻度と5-7年後医療費の関連についての研究	日本公衆衛生雑誌	57(10)	191	2010

神田秀幸, 尾崎米厚, 大井田隆, 兼板佳孝, 宗澤岳史, 谷畑健生, 箕輪真澄, 鈴木健二	Taspoは中高校生の自動販売機によるタバコ購入を完全に防止していない	日本公衆衛生雑誌	57(10)	273	2010
谷畑健生, 尾崎米厚, 神田秀幸, 兼板佳孝, 大井田隆, 箕輪真澄, 和田清, 鈴木健二, 林謙治	青少年の喫煙, 睡眠障害と精神的健康度 2004年度, 全国規模調査の断面調査結果	日本公衆衛生雑誌	57(10)	274	2010
森弥生, 神田秀幸, 尾崎米厚, 福島哲仁	HPLC/UV分析法による, 毛髪中ニコチンおよびコチニンの微量分析の開発	日本公衆衛生雑誌	57(10)	283	2010
高橋郁子, 尾崎米厚, 金田由紀子, 鈴木康江, 田原文, 岡本幹三, 岸本拓治	高齢者施設で働く介護職員の感染症に対する認識	日本公衆衛生雑誌	57(10)	442	2010
猪野亜朗, 岡村広志, 崎山忍, 和田文明, 樋口進, 尾崎米厚	介入ツール 飲酒の国民標準表(成人男女別)(第一報)	日本アルコール・薬物医学会雑誌	45(1)	38-48	2010
尾崎米厚	アルコール関連障害の動向	医学のあゆみ	233(12)	1119-1125	2010
尾崎米厚, 樋口進, 松下幸生, 田原文, 澤滋, 岸本拓治	多様な嗜好行動を物質依存の立場から考える 問題飲酒, ニコチン依存, インターネット依存, ギャンブル依存の相互関係	日本アルコール・薬物医学会雑誌	45(4)	61	2010
岸本拓治, 尾崎米厚, 田原文	職域におけるメタボリックシンドロームと β 2アドレナリン受容体遺伝子多型の関連性	日本衛生学雑誌	65(2)	380	2010
大倉毅, 谷口晋一, 山本直哉, 井上和興, 角啓佑, 塩地英希, 伊澤正一郎, 藤岡洋平, 松澤和彦, 木下博司, 大倉裕子, 武地幹夫, 尾崎米厚, 岸本拓治, 重政千秋	鳥取-江府study(第8報) 行政・医療・大学の3者連携による耐糖能異常者の早期発見と生活習慣介入	糖尿病(53(Suppl. 1)	S-282	2010
Osaki Y, Tanihata T, Ohida T, Kanda H, Suzuki K, Higuchi S, Kaneita Y, Minowa M, Hayashi K.	Decrease in the Prevalence of Adolescent Alcohol Use and its Possible Causes in Japan: Periodical Nationwide Cross-Sectional Surveys	Alcoholism-Clinical and Experimental Research	33	247-54	2009
空敬太, 岸本拓治, 尾崎米厚, 田原文, 西田道弘	職域における β 2アドレナリン受容体遺伝子-Arg16Gly遺伝子多型を考慮した動脈硬化症予防プログラムに関する研究	米子医学雑誌	60(3)	104-112	2009
井上和興, 大倉毅, 松澤和彦, 木下博司, 馬場裕生, 谷口晋一, 武地幹夫, 尾崎米厚, 岸本拓治	日本人の地域住民における耐糖能障害のスクリーニングのための適切な抽出指標の検討	米子医学雑誌	60	10-8	2009

鈴木康江, 岡本幹三, 尾崎米厚, 田原文, 岸本拓治	乳がんの罹患要因に関するコホート研究	米子医学雑誌	60	66-73	2009
宮本哲也, 尾崎米厚, 岡本幹三, 田原文, 岸本拓治	メタボリック症候群とがん罹患に関する後ろ向きコホート研究	米子医学雑誌	60(6)	224-231	2009
西田道弘, 岡本幹三, 濱島ちさと, 尾崎米厚, 岸本拓治	胃内視鏡検診の生存率による有効性評価	米子医学雑誌	60(5)	184-191	2009
Ohtsu T, Kaneita Y, Ohida T, Osaki Y, Kanda H, Tamaki T, Shirasawa T, Haseba Y, Kokaze A, Hayashi K	Attitudes of Japanese Medical Students towards Disclosure of a Diagnosis of Life-threatening Illness	Acta Medica Okayama	63	19-24	2009
Ohtsu T, Kokaze A, Osaki Y, Kaneita Y, Shirasawa T, Ito T, Sekii H, Kawamoto T, Hashimoto M, Ohida T	Blue Monday phenomenon among men: suicide deaths in Japan.	Acta Med Okayama	63(5)	231-6	2009
Takahashi I, Osaki Y, Okamoto M, Tahara A, Kishimoto T	The current status of hand washing and glove use among care staff in Japan: its association with the education, knowledge, and attitudes of staff, and infection control by facilities	Environ Health Prev Med	14(6)	336-44	2009
Ohkura T, Taniguchi S, Inoue K, Yamamoto N, Matsuzawa K, Fujioka Y, Sumi K, Izawa S, Takechi M, Osaki Y, Shigemasa C	Screening criteria of diabetes mellitus and impaired glucose tolerance of the Japanese population in a rural area of Japan: The Tottori-Kofu study	Yonago Acta Medica	52	105-114	2009
尾崎米厚	たばこ対策研究の現状と今後の研究課題	公衆衛生	72(7)	522-526	2008
尾崎米厚	地区活動のあり方を新たな視点で 行政保健師による地区活動の今後への期待 OJTの一環として	保健師ジャーナル	65(10)	830-834	2009
尾崎米厚	公衆衛生の人づくり 専門性を支える公衆衛生人教育 公衆衛生人教育における大学の現状と課題	公衆衛生	73(3)	190-195	2009
Osaki Y, Higuchi S, Tanihata T, Ohida T, Kaneita Y, Kanda H	Trends in adolescent alcohol use and related factors in Japan	Nihon Arukoru Yakubutsu Igakkai Zasshi	44(6)	697-703	2009
尾崎米厚	今、改めて"思春期"を考える その問題点と対策 青少年の健康リスク とくに喫煙と飲酒について	産婦人科治療	99(6)	549-556	2009
尾崎米厚, 田原文, 岸本拓治	脳卒中の日別発症数と気象条件、曜日との関係	日衛誌	64(2)	568	2009
福永一郎, 中瀬克己, 尾崎米厚, 糸数公, 星川洋一, 尾島俊之	健康危機管理における地域組織・ボランティアの果たすべき役割	日衛誌	64(2)	531	2009

田原文、岸本拓治、尾崎米厚、岡本幹三	職域におけるβ3アドレナリン受容体Trp64Arg遺伝子多型を考慮した保健指導効果に関する介入研究	日衛誌	64(2)	489	2009
尾崎米厚、樋口進、松下幸生、田原文、岸本拓治	わが国の成人における問題飲酒、ニコチン依存、インターネット依存、ギャンブル依存の頻度と相互関係	日本アルコール・薬物依存学会誌	44(4)	380-381	2009
樋口進、尾崎米厚、松下幸生	社会における飲酒渦の予防のために わが国の一般成人における飲酒運転の実態	日本アルコール・薬物依存学会誌	44(4)	236-237	2009
大津忠弘、小風暁、尾崎米厚、兼板佳孝、白澤貴子、樋場八裕、土居弘幸、大井田隆	自殺死亡の週内変動について	産業衛生学雑誌	51(臨増)	605	2009
西田道弘、濱島ちさと、岡本幹三、尾崎米厚、岸本拓治	鳥取県における内視鏡検診評価－生存率による評価	日本公衆衛生雑誌	56(10)	178	2009
尾崎米厚、神田秀幸、福島哲仁、大井田隆、谷畑健生、岸本拓治	わが国の成人の喫煙行動及び受動喫煙曝露の実態に関する調査の企画 予備調査結果より	日本公衆衛生雑誌	56(10)	191	2009
原口由紀子、尾崎米厚、田原文、高橋郁子、岡本幹三、矢倉紀子、岸本拓治	地域高齢者を対象とした小地域型介護予防事業の参加者の特徴	日本公衆衛生雑誌	56(10)	220	2009
谷畑健生、村田陽平、邱冬梅、神田秀幸、吉見逸郎、尾崎米厚	公的抑圧と喫煙行動	日本公衆衛生雑誌	56(10)	408	2009
城戸尚治、大井田隆、兼板佳孝、玉城哲雄、尾崎米厚、神田秀幸、谷畑健生	青少年における喫煙と睡眠障害の量反応関係について	日大医学雑誌	68(1)	83	2009
田原文、岡本幹三、尾崎米厚、岸本拓治	小学6年生におけるテレビ視聴時間と生活習慣および自覚症状との関連	学校保健研究	51	292	2009
岡本幹三、鈴木康江、西田道弘、尾崎米厚、岸本拓治	鳥取県における多重がんの発生要因に関する研究	米子医学雑誌	59(3)	73-80	2008
岡本幹三、鈴木康江、西田道弘、尾崎米厚、岸本拓治	血清脂質とがん罹患の関連性に関する後向きコホート研究	米子医学雑誌	59	113-21	2008
田原文、岸本拓治、永井マリヤ、芦村寿生、尾崎米厚、岡本幹三	職域における血管内皮細胞由来一酸化窒素合成酵素T-786C遺伝子多型を考慮した動脈硬化予防プログラムに関する研究	米子医学雑誌	59(3)	81-89	2008
Harano S, Hida T, Kaneita Y, Yokoyama E, Tamaki T, Takemura S, Osaki Y, Hayashi K	Prevalence of restless legs syndrome with pregnancy and the relationship with sleep disorders in the Japanese large population	Sleep and Biological Rhythms	6	102-9	2008

Kotani K, Sakane N, Kurozawa Y, Kaetsu A, Okamoto M, Osaki Y, Kishimoto T	Polymorphism of Trp64Arg in beta3-adrenergic receptor gene and serum LDL-cholesterol concentrations in healthy Japanese	Ann Clin Biochem	45(Pt3)	313-5	2008
Kotani K, Adachi S, Osaki Y, Kurozawa Y, Araga S	Relationship Between Alcohol Habits and Hemorheology by a Micro Channel Method in a General Population	Clinical Cardiology	31	488-91	2008
Osaki Y, Tanihata T, Ohida T, Kanda H, Kaneita Y, Minowa M, Suzuki K, Wada K, Hayashi K	Decrease in the prevalence of smoking among Japanese adolescents and its possible causes; Periodic nationwide cross-sectional surveys	Environ Health Prev Med	13	219-226	2008
Sawada T, Kishimoto T, Osaki Y, Okamoto M, Tahara A, Kaetu A, Kurosawa Y, Kotani K	Relation of the Glu298Asp polymorphism of the nitric oxide synthase gene to hypertension and serum cholesterol in Japanese workers	Prev Med	47(2)	167-71	2008
堀井芽衣, 岸本拓治, 尾崎米厚, 岡本幹三	職域集団におけるメタボリックシンドロームと動脈硬化関連遺伝子多型の関連性に関する横	米子医学雑誌	59(5)	148-155	2008
Tamaki T, Kaneita Y, Ohida T, Harano S, Yokoyama E, Osaki Y, Takemura S, Hayashi K	Alcohol consumption behavior of pregnant women in Japan	Preventive Medicine	47	544-9	2008
尾崎米厚, 箕輪真澄, 大井田隆, 鈴木健二, 谷畑健生, 神田秀幸, 兼板佳孝, 林謙治	わが国の成人の分煙に関する知識、受動喫煙曝露の実態に関する全国調査	日本禁煙医師連盟通信	17(1)	7-8	2008
松下幸生, 尾崎米厚, 樋口進	アルコール依存	こころの科学	139	89-95	2008
Osaki Y, Matsushita S, Shirasaka T, Hiro H, Higuchi S	Factors associated with problem use of alcohol among Japanese adults. The Second United States-Japan joint workshop on alcohol-related problems.				2008 Sep 17
Osaki Y, Kishimoto T, Tanihata T, Hayashi K, Ohida T, Kaneita Y, Kanda H, Minowa M, Suzuki K	Trends in association between alcohol use and cigarette smoking in Japanese adolescents: Results from periodical nationwide cross-sectional surveys	136 th Annual meeting and exposition of American Public Health Association			2008 Oct 25-29
松下幸生, 尾崎米厚, 館内由枝, 藤田さかえ, 樋口進	社会復帰施設を必要とするアルコール依存症者数の推計	日本アルコール・薬物医学会雑誌	43(4)	344-5	2008
真栄里仁, 尾崎米厚, 館内由江, 藤田さかえ, 松下幸生, 樋口進	社会復帰施設を必要とするアルコール依存症者のスクリーニング基準	日本アルコール・薬物医学会雑誌	43(4)	342-3	2008
岸本拓治, 尾崎米厚, 田原文	アドレナリン受容体Arg16Gly遺伝子多型を考慮した動脈硬化症予防プログラムに関する無作為化比較試験	産業衛生学雑誌	50(supple)	1031	2008

岡本幹三, 鈴木康江, 西田道弘, 田原文, 高橋郁子, 尾崎米厚, 岸本拓治	生存分析からみた多重がん患者と単発がん患者の生命予後の比較研究	日本衛生学雑誌	63(2)	560	2008
岸本拓治, 堀井芽衣, 尾崎米厚, 岡本幹三, 田原文, 永井マリヤ, 高橋郁子, 鈴木康江, 西田弘道	日本人職域における動脈硬化症関連遺伝子多型を考慮したメタボリックシンドロームに関する横断研究	日本衛生学雑誌	63(2)	510	2008
田原文, 岸本拓治, 永井マリヤ, 芦村寿生, 尾崎米厚, 岡本幹三, 高橋郁子, 鈴木康江	職域における血管内皮細胞由来一酸化窒素合成酵素(eNOS)T-786C遺伝子多型を考慮した、動脈硬化症予防プログラムに関する研究	日本衛生学雑誌	63(2)	430	2008
玉城哲雄, 大井田隆, 兼板佳孝, 横山英世, 神田秀幸, 尾崎米厚, 武村真治, 林謙治	わが国の医学部学生の喫煙および関連要因に関する調査研究	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会抄録集	55(10 suppl)	252	2008
神田秀幸, 早川岳人, 坪井聡, 尾崎米厚, 福島哲仁	Cochrane Database of Systematic Reviews における未成年者喫煙対策の動向	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会抄録集	55(10 suppl)	255	2008
尾崎米厚, 神田秀幸, 大井田隆, 兼板佳孝, 簗輪真澄	わが国の中高生の喫煙防止のためには、タバコ価格はいくらがいいのか?	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会抄録集	55(10 suppl)	297	2008
岡本幹三, 高橋郁子, 鈴木康江, 田原文, 尾崎米厚, 岸本拓治	島根県H町における小学6年生及び中学2年生の排便リズムと生活習慣連鎖に関する研究	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会抄録集	55(10 suppl)	470	2008
高橋郁子, 尾崎米厚, 原口由紀子, 鈴木康江, 田原文, 岡本幹三, 岸本拓治	高齢者施設で働く介護職員の感染症の知識に関する一考察	日本公衆衛生雑誌 第67回日本公衆衛生学会総会抄録集	55(10 suppl)	585	2008

平成22年度厚生労働科学研究費補助金
(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)

わが国の成人の喫煙行動及び受動喫煙曝露 の実態に関する全国調査

(H20－循環器等(生習)－一般－004)

研究代表者:尾崎米厚(鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)
研究分担者:岸本拓治(鳥取大学医学部)、大井田隆(日本大学医学部公衆衛生部門)
福島哲仁、神田秀幸(福島県立医科大学衛生学)
谷畑健生(国立保健医療科学院疫学部)

研究目的と方法

【背景】 喫煙の健康被害を減らすための喫煙対策の推進には実態のモニタリングが必須。いままでのわが国での喫煙率調査は問題点があった。

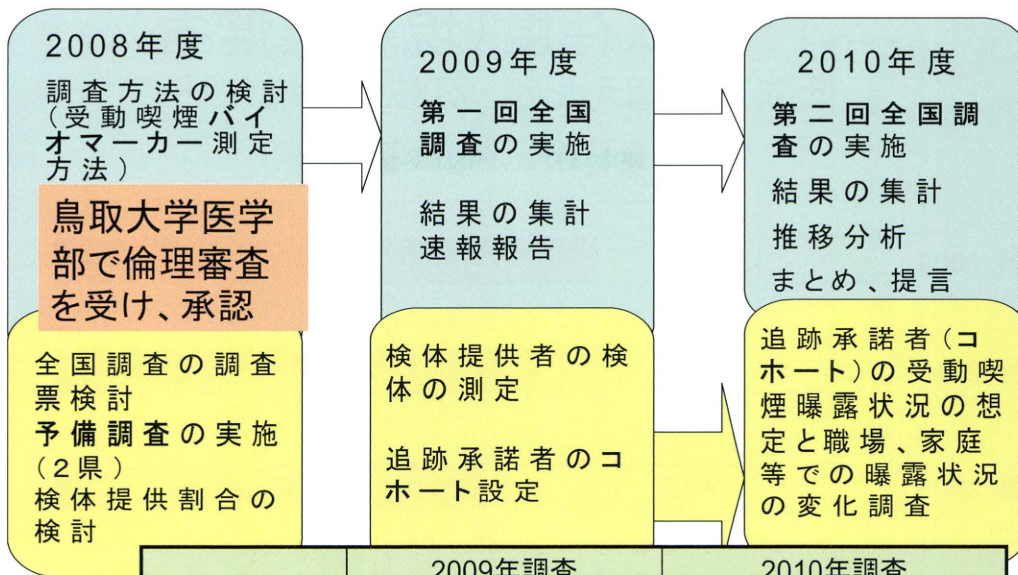
【目的】 わが国の成人の喫煙行動の実態を明らかにし、喫煙対策の成果を評価し、残された課題を明確にし、今後の喫煙対策推進のための提言を行うこと(国際比較可能な代表性のある全国調査)。健康日本21の評価指標も提出できる。

受動喫煙の曝露実態を客観的に把握し、非喫煙者の受動喫煙からの保護対策の評価と課題を明らかにする。

【方法】 無作為抽出(層化2段無作為抽出)による全国調査(2009年調査と2010年調査を実施)。調査員による訪問面接調査。国際比較可能な調査内容。

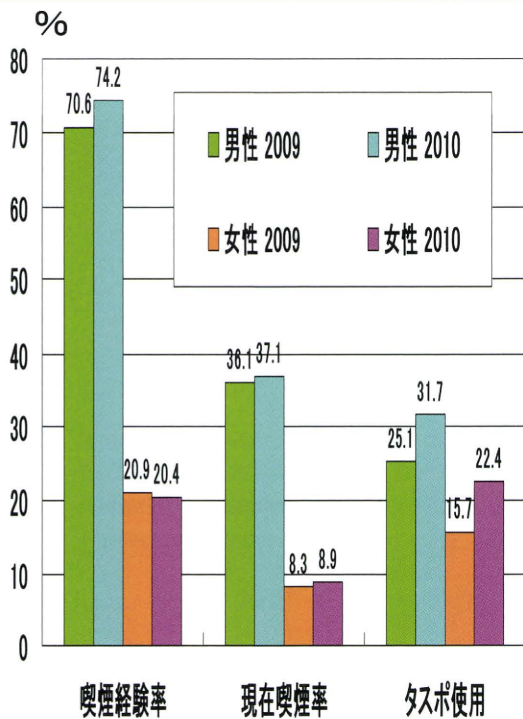
受動喫煙曝露の客観的指標検査(バイオマーカー)
継続調査による喫煙対策の評価

WHO/CDCが推奨するGlobal Adult Tobacco Survey (GATS) のコア質問を中心に我が国の状況を加味した内容を加え、調査票を作成した。



	2009年調査	2010年調査
調査回答数	1,783	1,146
回答率	63%	66%
毛髪検査数	210	269人、2年連続協力128
爪採取数	329	なし
唾液採取数	なし	342

喫煙者率 値上げ後喫煙率が低下していないが本数が減った



2009年人口を基準人口にして年齢調整 現在喫煙者に対する割合

